

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市葛野老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施
- ・京都市配食サービス事業の委託

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・看護師等による個別機能訓練の計画作成と実施
- ・機能訓練を取り入れた、多種多様なレクリエーションの実施（外出レク、運動レク、選べるレクの実施）
- ・地域ボランティアの受け入れ
- ・中学校チャレンジ体験事業への協力・受け入れ
- ・保育園・児童館・小学校・障害者施設との交流活動
- ・センターパンフレット、毎月の広報誌発行
- ・地域関連団体との連携の強化（地域行事に参画）

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

施設長：1名、生活相談員：2名、看護師：5名、介護職員：12名、機能訓練指導員：5名（4名は柔道整復師）、調理員：5名、運転手：3名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規定により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし100万円未満の委託業務に関しては、随時契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随時契約では市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

8363 人

(2) 実利用者数(実績値)

1084 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	81,821,600
利用料収入	7,149,793
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	24,043,343
収入計	113,014,736

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	74,290,429
事業費	16,092,297
委託費	
小額修繕費	
その他	22,626,772
支出計	113,009,498

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

利用者全員へアンケートを実施
実施期間: 令和3年2月
実施内容: サービス内容及び職員に対する満足度等
回収率: 76.0%

(2) 利用者満足度把握の結果

(送迎)	満足: 77%、やや満足: 14%、やや不満: 5%、不満: 0%、無記入: 4%
(入浴)	満足: 72%、やや満足: 11%、やや不満: 3%、不満: 0%、無記入: 14%
(食事)	満足: 70%、やや満足: 14%、やや不満: 4%、不満: 0%、無記入: 12%
(レクリエーション)	満足: 46%、やや満足: 14%、やや不満: 5%、不満: 2%、無記入: 33%
(機能訓練)	満足: 48%、やや満足: 26%、やや不満: 0%、不満: 0%、無記入: 26%
(職員)	満足: 72%、やや満足: 12%、やや不満: 0%、不満: 0%、無記入: 16%
(デイについて)	満足: 63%、やや満足: 19%、やや不満: 2%、不満: 0%、無記入: 16%

(3) 意見等への主な対応状況

送迎: 到着前連絡を希望される方については、事前連絡をおこなっている。
入浴: 週替わりで男性が先、女性が先と入替えし利用者ニーズにお応え。密にならないよう努め、午前午後と入浴実施。入浴時間については、その日の体調を考慮、柔軟に対応している。
レクリエーション: 感染予防に努め、密にならず、製作、運動等、やりがいや楽しみをもっていたけるよう企画・参加していただいている。
機能訓練: 自宅での生活動作が維持できるよう目的を持ってリハビリ参加していただいている

7 その他特記事項

(1)

地域連携では、隣接する保育園からコロナ禍で制限はあるもののDVDでの交流を継続している。毎月発行の広報誌には、デイの取り組みや行事など掲載し、ご利用者・ご家族・担当ケアマネジャーに配布。デイのパンフレットも事業内容・取り組み等できるだけわかりやすく記載し、ケアマネジャーが紹介しやすいように作成している。

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

（自己評価）

- ・自立支援をこころがけ、できることは、ご利用者の役割として、洗濯物干しや洗濯物たたみなど、生活リハビリを実施。
- ・職員がそれぞれ個別ケースを担当し、ご本人のニーズを担当職員が把握し満足度を上げる取り組みをおこなっている。
- ・レクレーションは、頭脳系や運動系を取り入れて機能訓練も兼ねて行えるよう計画実施している。
- ・幅広い年齢層の職員の構成になっており、利用者にとってそれぞれの年代の話題を得ることができ興味の幅が広がり、職員との会話も楽しみにされている。